

せい ろう まち せ 聖籠町 議会だより

VOL.
104
平成25年10月25日発行

走れ走れ
(聖中祭)



平成24年度決算を認定

6・7ページ

**10人が一般質問
委員会報告**

10~19ページ

20・21ページ

9月定例会

平成25年第3回定例会は9月10日から26日までの17日間の会期で開かれました。

町長から行政報告があり、一般会計補正予算の認定、平成24年度決算の認定など、14議案を慎重に審議し、全て原案通り可決しました。

致で同意し、陳情2件については採択、1件については不採択となりました。
一般質問では、10議員が2日間にわたり、図書館建設、教育課題、公園の維持管理、地場物産の経営、参議院選挙の投票率等について町長、教育長、選挙管理委員長にたえました。

内容

平成25年10月15日をもって任期満了となる教育委員会委員、諏訪孝男氏の後任として、稲田健一氏を同委員に任命するため議会の同意を求めたもの。

諏訪氏側からの辞退を受けたもの

町長 諏訪氏には、教育委員として一期務めていただいたが、家業が忙しく、本人の希望により継続できなかった。そのため、新たな委員として稲田健一氏を任命したい。

質疑

新たに選任した経緯は

中村恵美子議員 稲田健一氏を新たに選任することとなった経緯は。

採決 無記名投票の結果賛成13、反対0で同意

図書館新設工事の契約

(外構工事・物品購入)

図書館新設工事(外構工事)契約の締結

- ①工事の内容
アスファルト舗装5986平方メートル、側溝399メートル、低木植付282株他
- ②金額 7392万円
- ③契約の相手方 新発田建設㈱
- ④契約の方法 随意契約

①購入内容
一般書架45台、児童書架29台、閲覧デスク13

主な質疑

- 台、チェア147脚他
 - ②金額 1億867万5千円
 - ③契約の相手方 敦井産業㈱
 - ④契約の方法 制限付一般競争入札
- 小川益一郎議員 本棚は木製でなくスチール製か。
社会教育課長 主材はスチール製だが、外観は木製模様としている。

主な質疑

渡辺利道議員 舗装を新たに実施すると、近年各

物品購入契約の締結(図書館家具の購入)

①購入内容
一般書架45台、児童書架29台、閲覧デスク13

採決 起立全員により可決

行政報告



渡邊町長

●消防団県大会で準優勝

●津波シミュレーション公表

●東港活性化活動

●図書館新設工事開始

▼7月28日、県ポンプ操法競技大会に、町の代表として小型ポンプ操法の部に4分団5班(次第浜集落)が出場し、準優勝の素晴らしい成績を残しました。消防活動に対する真摯な取り組みと、不断の努力に対して感謝と敬意を表するとともに、さらなる活動を期待いたします。

設置し、想定される地震の規模、地震に伴う津波の規模を検討しました。見直し作業を行い、一定の精度が確認されたことから、7月に津波シミュレーションの結果を公表しました。今後、河川遡上のシミュレーションを行い年度末までに正式公表します。町も正式な公表を待ち、浸水エリアをハザードマップに盛り

込み、今年度中には完成したいと考えています。▼原子力災害に関しては、町でも放射能のモニタリングを実施していますが、東京電力(株)の原発事故前のレベルで推移しているため、県も測定を行い随時状況を公表しています。

▼新潟東港のコンテナターミナル民営化や、この乗り入れ整備をはじめ東港の機能拡充や聖籠海岸の保全整備を県・新潟市と連携を図ります。

また、東港工業用地活用に関しては、新潟のエネルギー拠点基地と今後の可能性や対岸ロシア極東との地理的優位性。および、太平洋側に偏ったエネルギー基地のリスク分散の観点から、東港をエネルギー特別地域とする要望活動を新潟市、上越市と共同で行っていきます。

▼図書館新設工事は、6月27日の安全祈願祭以来、建物の杭打ち工事も終わ

教育委員に 稲田 健一さん(新任)



いなだ けんいち 稲田 健一さん

教育委員の諏訪孝男さん(杉谷内)が平成25年10月15日に任期満了となることから、後任として稲田健一さん(大夫興野)の選任を賛成13、反対0で同意しました。
稲田さんは平成22年3月まで新発田市立第一中学校の校長を務められた教育者で、人格、見識に優れた方であり、教育行政にその手腕を期待します。

松くい虫対策事業の委託料を承認

一般会計補正予算

水田農業確立対策補助金	590万円
森林(保安林等)病害虫防除対策事業委託料	2,128万円
物件及び電柱移転等補償費	900万円

平成25年度一般会計補正予算は、既定予算に歳入歳出それぞれ4838万円を追加し、総額79億2807万円と定める補正予算を全会一致で可決しました。

主なものは、水田農業確立対策補助金590万円、森林(保安林等)病害虫防除対策事業委託料2128万円、物件及び電柱移転等補償費900万円などです。

か。また利用者懇談会は今後も開くのか。

3台で42万円強
総務課長 バスの売却価格は3台で42万円強である。

福祉バスを切り捨てたか
五十嵐利栄議員 民営化の段階でダイヤを大幅改正し、車のない人たちが大変困っている。福祉政策を切り捨てたのか。

利用者少ない路線を減便した
生活環境課長 利用者懇談会に乗者数を提示し、1〜10人以内の利用路線を減便した。

バスの処分価格は
小川益一郎議員 バスはいくらで処分する予定か。

事業者都合の退職となる
生活環境課長 委託会社への転出について話し合いをしたが、結果として全員退職を選択した。事業者都合の退職となる。

退職は事業者都合か
五十嵐利栄議員 エコバス運転を民間に委託することに伴い、運転手7人全員が現職場を退職する。この退職は事業者都合の扱いとなるのか。

民間委託後も事業主体は町であり、利用者懇談会は今まで通りである。
町長 民間委託後も事業主体は町であり、利用者懇談会は今まで通りである。



▲民間委託のエコバススタート

消費者行政グッズは

宮沢光子議員 消費者行政グッズの具体的対応策は何か。

高齢者に詐欺防止グッズを

町民課長 他市町村の例を参考にし、今回は70歳以上の人を対象に、印鑑ケースとマットにメッセージを印刷して配布する。

手渡し詐欺の実態は

小川益一郎議員 最近発生している、手渡し詐欺の実態と、消費者行政への相談件数は何件か。

把握していない

町民課長 手渡し詐欺の実態は把握していない。消費者行政への相談件数は昨年82件に対し、今年には既に103件ある。特に「だいかい友の会」に関する相談が70件と多い。

被害松有効活用は

小川益一郎議員 松くい虫の被害は大きく、莫大な金額を使っている。被害松の有効活用はできないか。

専門的検討必要

町長 松くい虫の被害松はストロップでも燃えにくく、専門的な見地からの検討が必要。

食糧費はどう使う

中村恵美子議員 総務課の食糧費は具体的にどのように使う予定か。

自衛隊音楽隊演奏時使う

総務課長 12月5日に自衛隊音楽隊の演奏を計画しており、この折に宿泊施設借上を予定している。



▲止まらない松くい虫被害

みなさんの 請願・陳情

第3回定例会では、地域住民より直接の声となる陳情3件が審査され、うち2件を採択、1件を不採択としました。

採択した陳情

- ◎「私立高等学校の学費と教育条件の公私格差是正にむけ、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情
〔提出者 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村直美〕
- ◎「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について
〔提出者 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳〕

不採択となった陳情

- ◎「年齢計算二関スル法律」の改正についての意見書の提出を求める陳情書
〔提出者 南雲宗雄〕
- 意見書を国・県に提出**
 第3回定例会で4件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、国・県の関係機関に提出し、実現するよう要請します。
- ◎道州制導入に断固反対する意見書
- ◎私立高等学校の学費と教育条件の公私格差是正にむけ、私学助成の増額・拡充を求める意見書(国あておよび県あてにそれぞれ提出)
- ◎「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

決算委員会での主な意見

平成24年度決算7会計を認定

平成24年度一般会計・特別会計歳入歳出決算、および下水道事業・水道事業会計決算の合計7会計は、決算審査特別委員会に付託され、9月19日・20日・24日の3日間にわたり、議長を除く13議員で審議を行いました。

委員長に渡辺利道議員、副委員長に中村恵美子議員

を選任し、町長、副町長、教育長および各担当課長の出席を求め、慎重に審査を行いました。委員会は合計20項目の意見を付けて全会計を認定し、本会議においても委員長報告通り、全会一致で認定されました。

一般会計決算

▼平成24年度決算は、歳入総額78億1003万円、前年度対比2・6%増、2億111万円の増。歳出総額75億3547万円、前年度対比3・5%増、2億5672万円の増。繰越明許費3178万円を差し引いた実質収支は2億4278万円の黒字決算となった。

経常収支比率は94・5%（前年度81・4%）、公債費負担比率は4・6%（前年度5・4%）であり、財政の健全性は維持されている。しかし、主な歳入のうち町税は45億1963万

円、前年度対比2・3%増、1億620万円の減となり、そのうち固定資産は評価替えによる土地・家屋の価格の下落と東港立地企業の償却資産の減少により前年度対比1億6289万円の歳入減となり、一般財源は引き続き厳しい状況となった。

この傾向は今後も続くと思われるため、新たな企業誘致などで歳入増を取り組むと同時に、限られた経費でより高い効果が挙げられるような町政運営を強く望む。

▼町税等の徴収率は高く、滞納繰越分の徴収率も県でもトップクラスである。税金が滞減する状況下であり、今後も今まで通り町税徴収に尽力願いたい。

▼議論白熱 決算特別審査



特別会計決算

▼国民健康保険税収納率は、現年度一般分は94・54%で前年度より1・56ポイント高く、滞納繰越分は53・79%で前年度に比べ6・2ポイント高くなった。景気の低迷により被保険者の所得額が減少する中で、収納率アップは明るい材料である。

▼下水道事業は接続人口、今後も被保険者の公平性を確保するため、滞納整理等の取り組みに一層の努力を望む。

▼介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計についても認定した。

歳入について

不交付団体維持

あと5年前後で交付団体に転じる可能性があるというが、税収の確保と町税等の未納対策に、より一層の危機感をもった創意と工夫を求めたい。

課税事故防止

今後、課税等における事故を起こさないために、法令の周知徹底はもとよ

歳出について

委託事業

町の委託事業費は、年間11億円以上にもなっている。委託にあたっては、効果と効率を十分に図りたい。

土地利用

国道113号線沿道と

節電

役場周辺の土地利用は、調和のとれた計画によって積極的に進めることを望む。

杉の子の家

町施設の節電対策に努めるとともに、LED化の推進について検討されたい。

農産物加工センター

地場の農産物を生かした6次産業の拠点となるよう、より一層の努力を望む。

公園管理

公園の管理を徹底し、公園が持つべき機能向上を図り、町民の憩いの場

ドクターヘリ

ドクターヘリの発着に小学校のグラウンドが使われている。子どもたちの授業への影響や安全の観点から、場所の変更を望む。

後期高齢者医療

毎年予算額が拡大している。病気の早期発見、早期治療を進めるため、人間ドックの助成を検討されたい。

聖籠町診療所

地域医療の拠点として診療所の担う役割は大きく、町民へのさらなる浸



▲6次産業の核となれ加工センター



▲医療の中核診療所



町政を問う

一般質問

- 9月議会では、10議員から町政を問う一般質問がありました。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、11月末に町ホームページに掲載される予定です。

10議員が質問

第3回 臨時議会

図書館新築工事に3700万円追加

平成25年第3回臨時議会は、8月26日の1日間で開かれました。

提出された議案は、消防大会への出場経費、専決処分202万円と、図書館新築工事3700万円増および図書備品等1200万円減により、歳入歳出に2500万円を追加する補正予算で、いずれも原案の通り可決し、一般会計総額は78億7969万円となりました。

主な質疑

図書費なぜ減額か

五十嵐利栄議員 図書館建築費3700万円は、予定を超えたためか。一方で図書費を100万円減額した理由な何か。

DVDの数を減らした

社会教育課長 建築工事費は当初予算で不足になった。図書費の減額は精査して、DVDの数を減らした。

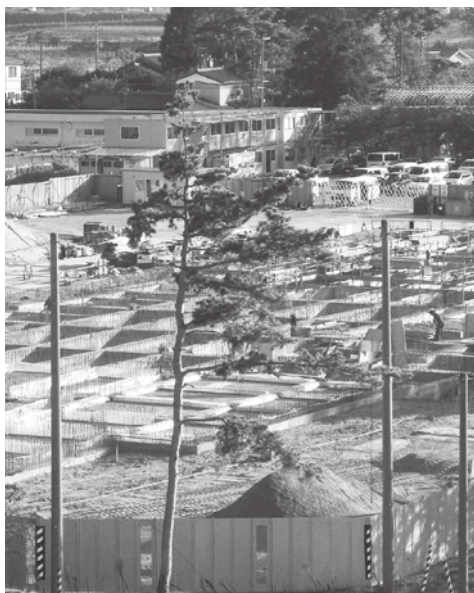
建築費3700万円何に使う

渡辺利道議員 当初予算で建築費9億5000万円計上されている。現時点での契約金額は、9

億216万円、まだ4784万円の残額がある中で、なぜ3700万円の追加が必要なのか。

本体外工事費オーバーで外構工事費足りない

社会教育課長 本体外工事が当初予算を大幅に超えたため、外構工事費が不足となった。駐車場の舗装、側溝工事、植栽工事、フェンス工事等を使用予定。



▲建設が進む新図書館

読者の声



よしだ てつや 吉田 哲也さん (真野)

教育充実にお金はかからない

将来の聖籠町のさらなる発展・繁栄の土台は教育です。そこで、十数年間教育に関わってきた経験から、私が思う「お金のかからない」教育充実法を二点申し上げます。

①教師同士の授業指導法の共有
教師全員が各自の授業指導法を持ち寄って「研究」「共有」し、今できる最良の授業を一律に行えば、学校の学力はさらに向上します。また、授業準備の合理化により新

たな時間が生まれ、さらなる学力アップの研究に打ち込めます。時間がなければ教師同士で授業ノートを確認し合う方法もあります。それにより、学校全体の授業レベルと教師の能力が向上し続ける仕組みが完成すると思います。

②生徒による教師への点数評価
生徒の利益を第一に考え、分かりやすい授業をするためには、生徒に直接意見を聞くのが一番の

近道です。「教師への点数評価アンケート」を行えば、常に授業の改善が進み、授業技術が向上し続けます。また教師と生徒との間に、共に授業を創りあげていく喜びが芽生え、お互いの信頼関係や一体感がさらに強まると思います。

子どもたちは、自分のために毎日ひたむきに努力を積み重ねる大人を見て心を動かされることでしよう。「学力教育重視」も、やり方次第では逆に「人間教育」にまで発展していくことになると思います。先生方も子どもたちも聖籠町の宝物です。既にあるその才能・財産を信じ、生かしてお金を使わず「知恵」を使うことによって教育充実はできると確信します。

須貝議長が会長に就任

当議会須貝龍夫議長が6月25日付で県町村議会議長会の会長に就任しました。須貝議長は町議会

議長として4年余りの活躍を評価され、会長に就任したものです。今後は県代表としての、

各種会議への出席など更なる活躍が期待されます。任期は2年です。

宮沢光子議員

P10

- 1 新図書館の運営計画どうするか
- 2 どう考えているか「土曜授業」

渡辺利道議員

P11

- 1 しっかりせよ公園維持管理

五十嵐利栄議員

P12

- 1 急げ教育環境改善
- 2 基盤整備を積極的に取り組め
- 3 赤字体質からの脱却目指せ

中村恵美子議員

P13

- 1 申請は従来通りか
- 2 今後の学童保育は

桜井怜議員

P14

- 1 どうする空き家対策
- 2 結婚相談支援の考えは

小川益一郎議員

P15

- 1 長谷川元町長の追悼を
- 2 苔沼地区の通学路危険

高松守雄議員

P16

- 1 東港の可能性どうみている
- 2 低投票率どう高めるか

田中智之議員

P17

- 1 成人式の課題にどう取り組む
- 2 土曜授業への対策は

堀常正議員

P18

- 1 保安全管理をしっかりと
- 2 トイレを24時間開放すべき

青木順議員

P19

- 1 児童クラブと児童館どうなる
- 2 3小学校にクーラーを
- 3 通学路の安全確保どうなった



宮沢 光子議員

新図書館の運営計画 どうする

教育長 計画の素案を9月中に作成

問 来年6月オープンを目指し、新図書館の建設が始まっている。新図書館は、今の図書館とは規模が違い、独立した施設で、約4倍のスペースである。
町民の暮らしの中の図書館として、新図書館を運営するには、今までの規則のどこを見直しすべきか、具体的に議論、検討しているか。
公共の建物は建てて終わりではない。どのように運営され、町民にどう根付くかで真価が問われる。
全国各自治体の中では、公共図書館の運営を民間委託にする傾向にあるが、町の考え方はどのようなものか。

新図書館のオープン後、町民会館にある現図書館のスペースの具体的な活用はどうするのか。活用のあり方次第で改修工事が必要か。
町長 当町の新図書館建設の初期の目的は公共性であり、地域の教育力を高めていくことである。これまでの図書館とは違うイメージで生涯学習の場としたい。現図書館のスペース利用については、文化会館の付属施設に利用と考えた時期もあったが、町民会館を利用する各団体からも広く意見聴取して、最終的に教育委員会と協議する。基本的に改修は考えていない。



▲生涯学習の場が期待される新図書館

教育長 新図書館の管理運営計画の素案は9月中に作成する。
素案の中で具体的な検討事項は、祝日を開館日とすることや週末の移動図書館車の運行、職員の増員などがある。

どう考えているか 「土曜授業」

教育長 「土曜授業」は時期尚早

問 土曜授業実施について文科省の検討チームは、自治体の判断によって、これまで以上に土曜授業に取り組みやすくする省令の改正等を行うとした中間報告を出した。
全国的には、独自に土曜授業を実施している自治体は多い。
当町においても、将来的なことを考え、基礎学力の定着や各教科の予習復習等に土曜日を使うことが考えられないか。
教育長 今後、文科省の全体的な動きを見る必要がある。
学校週5日制が導入されて10年目であるが、国として検証、総括が済んでいない。土曜授業実施は時期尚早である。

しっかりとせよ公園維持管理

町長 適正な維持管理に努める

問 ①町が管理する臨海西公園は、シンボルとなっているシュロの木は枯れ、芝生広場は雑草が伸び放題、公園に町民を遊ばせる意思がまったく感じられない。また、公園のトイレは非常に汚く、手洗いもためらう状態。位守山史跡公園も同様な状況。公園の維持管理体制はどのようになっているか。
②弁天瀧風致公園の整備は今年度で終了する予定とのことだが、弁天瀧の既存公園エリアにおいても改善を要する点が多く

町長 ①公園の管理は最低限の範囲で行っているため、決して十分ではないと承知している。臨海西公園や位守山史跡公園は業者への委託を主としており、芝の管理は6月と9月の2回実施している。他に、シルバー人材センターで除草業務やトイレの清掃等を行っている。
②トイレの管理頻度は消耗品の補充や清掃など週2回である。
指摘の臨海西公園は、もう少し利用しやすい環境づくりになるよう配慮する。

見受けられる。園路整備、東屋、デッキ、ベンチ、転落防止柵など、経年による劣化が進んでいることから、今回の公園整備にあわせ改善が必要と考える。

③わが町は、公園の管理が大変お粗末である。せっかく多額のお金を投資して建設した弁天瀧風致公園も、臨海西公園と同様な状態となるのではないかと危惧する。総合計画の中に、施策として公園の維持管理を盛り込むべきだと考えるがどうか。



渡辺 利道議員



▲雑草繁茂の臨海西公園

③総合計画の基本計画では、都市近郊型の土地利用施策として多面的な機能を持った公園整備に努めるとある。公園の維持管理をどのように実施するか、実施計画で示している。公園は整備に大きな投資をしているので、



▲転落防止の徹底を(弁天瀧)

②弁天瀧風致公園の整備は、今年度でトイレや休憩所、案内看板を整備して終了する。既存公園部分の施設は再点検を行い、必要な維持補修を行う予定である。既存の駐車場は別途駐車スペースを整備したことから、トイレも含め、撤去を検討している。
適正な維持管理をするのが基本である。後期の基本計画の中で、維持管理を検討していきたい。



中村 恵美子議員

問 ① 現行の生活保護法では、保護の申請は申請者の住所、氏名、年齢、保護が必要な理由を記した簡単な書面の提出、場合によっては口頭も認められている。

改悪案は申請の際に書類の提出、書類をそろえることを義務付けている。著しい申請者の侵害が引き起こされることも考えられるがどうか。

改悪後も、口頭の申請は大丈夫か。

② 生活困窮者自立支援法案は、就労支援の名で要

保護者に圧力をかけ、水際作戦や強権的な保護の打ち切りにつながる。適切な就労支援になっっているか。

③ 餓死、孤独死を防ぐために、福祉事務所と電気、ガス、水道などライフライン事業者との連携を図るよう国から通知が来ている。町として福祉事務所に連携を図るよう要請をするべきでないか。

町長 ① 生活保護制度では、保護の開始・変更の申請は書面を提出しなければならぬとされてい

る。この規定も書面による申請を保護の要件としているのではないから口頭でも認められると思うが、その後、書面の提出をしよう。

② 生活保護に至る前の生活困窮者で、就労可能な者に対する就労支援を目的とするもの。要保護者に一方的に圧力をかけた、強制的に保護を打ち切ったりするものではないと理解している。

③ ライフラインの連携については、県は電力会社と連携している。水道は、保健福祉課と上下水道課と連携している。

残るガス事業者やライフラインについては、新発田地域福祉事務所と協議しながら要望する。

町長 口頭の申請後書類提出を

申請は従来通りか

急げ教育環境改善

町長 優先順位を決めて対応



五十嵐 利栄議員

問 町内3こども園と、中学校の普通教室のほかにエアコンが設置されている。しかし、町内3小学校普通教室などにはエアコンが全く設置されていない。

温暖化が進む中、児童の学習効率を高める観点から、小学校の普通教室などに早急にエアコンを設置すべきでないか。

小学校から中学校の少人数学級の実現は、教育現場での重要課題である。

国の基準は40人以下が現状で、新潟県では小学校1・2年生で32人以下学級が実現している。

現在蓮野小学校3・4年生と亀代小学校4年生が、35人体制で学習

しているが、町独自で少人数学級を実現すればこれが解消される。実施する考えはないか。

町長 異常気象もあるが、夏休みもある。例えば扇風機での対応や、他市町村の動向などを踏まえて検討する。

教育長 県内の小学校普通教室エアコン設置率は6・3%で、特別教室のエアコン設置率は18・8%である。これらを踏まえて、まず特別支援教室のエアコン設置を優先したい。

今年度、県から二つの小学校に1人ずつ先生を増員してもらい、町独自の講師が各小学校に1人ずついる。これらの人材を有効活用することで、少人数指導や高学年の一部教科担任制実施を学校にお願いしている。このような実態から、町独自の32人以下学級は考えていない。

町長 関係者と協議し進める

基盤整備を積極的に取り組め

問 本町の水田農業で、ハード面での最大課題は基盤整備の拡大と考える。現在事業を進めている、丸瀧地区約47ヘクタールの基盤整備が完了しても、本町の基盤整備率は約20%だ。

県内市町村最低の基盤整備率で県平均の約57%の半分にも達しない。今後の基盤整備にどう取り組む考えか。

町長 今後の基盤整備はいわゆる丸瀧方式と山大夫方式を併せて推進する。県・土地改良区およびJAなどと協議し、受益者の理解が得られる事業推進を図る。



▲基盤整備はハードの課題

問 地場物産館は設立から20年経過し、設立当初はテナントからの家賃収入がほとんどだったが、今は直売所の手数料などが収入の主体となった。経営の体質改善が必要だ。

町長 地場物産館は、設立当時比べ環境変化もある。抜本的な方向転換が必要と考えている。

赤字体質からの脱却目指せ

町長 方向転換検討する



▲利用者激増の放課後児童クラブ

今後の学童保育は

町長 専門委員会を設置

問 国として学童保育の基準を初めて法令で定め、市町村条例で平成27年4月から本格施行となるがどう考えているか。

町長 国の省令基準を踏まえ、市町村は平成26年度中に条例で基準を定めることになる。

国は、社会保障審議会児童部会に放課後児童クラブ基準に関する専門部会を設置した。



小川 益一郎議員

問 去る8月16日、元町長長谷川榮作氏が逝去された。享年97歳。大正、昭和、平成と一世紀にも及ぶ日本の姿、聖籠町の姿を見て、また築き上げてきた人である。村議、助役6期、町長3期を務め、今日の豊かな誇れる聖籠町を築き上げてきた第一人者である。昭和30年の亀代・聖籠の合併、昭和52年村から町へ移行し新潟東港開発に伴う亀塚集落など450戸以上の移転や、東北電力(株)東新潟火力発電所

の誘致をはじめ、東港開発に伴う企業誘致により、今日の豊かな不交付団体に導いた功績は計り知れない。文化・スポーツの殿堂である町民会館の建設をはじめ、野球場、保健福祉センター、各幼稚園、小学校の整備。弁天湯風致公園整備や公園、各集落センター、聖籠郵便局誘致。新発田市と共に誘致した敬和学園大学、県園芸試験場、新新パイパス、新発田川放水路、国道113号の無雪道路の

整備、日沿道高速道の供用開始等々素晴らしい実績を挙げられた。また聖籠町の町民憲章の草稿も起草された。長谷川元町長の功績をたたえ、町民とともに追悼とあるいはしのぶ会をやる考えはあるか。**町長** 故長谷川氏の追悼と遺徳をしのぶ会を町が主催するには、それなりの説得力のある理由付けや位置付けが必要である。例えば名誉町民としての称号や顕彰を受けているとか、それに準ずるものがあるかどうか。退任されて19年もたっており総合的に判断した。

町長 総合的判断しできない

長谷川元町長の追悼を



桜井 怜議員

どうする空き家対策

町長 条例整備を検討する

問 空き家対策の条例について、県内11市が制定している。いずれも、所有者に適切な管理を求める内容で、催告や代執行について定めている。以前、空き家は集落内にあまりなかったが最近では増えている。高齢者の方の死亡、又は一人世帯の方が、介護施設に入ると、空き家同然になってくる。また、空き家をすみかとするハクビシンによる農作物被害なども聞かれる。立入調査権を踏まえて、町も条例制定の考えはないか。

町長 将来に向けた、空き家対策として、安全、適正な管理を確保していく観点からも、所有者・占有者の義務、それから町の役割などを明確にしたい。そのため、条例整備も前向きに検討を加えながら、聖籠町の実態に合わせて、条例制定を考えていきたい。



▲増える空き家をどう守る

問 先般新聞で婚活の後押し提携に調印、という見出しで糸魚川市が結婚情報サービス大手と、婚活支援に関する提携を結んだと読んだ。未婚、晩婚化対策の強化とし、人口減少に歯止めをかけるのが狙いとのこと。

町長 阿賀北地域の市町村が連携する、市町会を設立した。その会にこの婚活事業の展開を反映できないか、課長に指示して、模索しているところである。婚活事業を成功している地区もあるようだが、ほとんどが、大変苦慮している実態と聞いている。各自自治体が出資をして、NPO法人的なものを設立する。そして広域的な事業展開の中で、民間の事業者との連携も含めながら、広域的な役割を担うような、事業基盤ができないかを検討している。

町長 阿賀北各市町村広域の中で検討

結婚相談支援の考えは

苔沼地区の通学路危険

町長 地権者の理解と協力を

問 苔沼集落地内の小・中学生通学道路は歩道もなく、道幅も狭いため冬期間は車のすれ違いもできない危険地帯である。①なぜ苔沼地区は放置されているのか。②町の道路整備優先順位は。③小・中学校からの要望は。④歩道が駄目なら消雪パイクを。⑤町民会館前から迂回路は。

町長 ①放置でなく中止状態。②優先度は上位。③学校からの要望はない。④望ましいのは歩道設置。⑤地権者の意向を見極めながら進める。**教育長** ⑥降雪時期は、特に注意が必要。⑦小・中学校から要望ないが関係者と協議しながら検討したい。



▲歩道のない通学路を歩く児童



田中 智之議員

問 今年の成人式における新成人の出席率は49%で、近隣市町村と比較すると低かった。また式典への来賓出席者は、招待された半分にも満たなく、途中退席する来賓もいた。自分が生まれ育った地で祝ってもらった成人式は、成人にとって人生の節目であり新たなスタートラインである。しかし、新成人の思いと町の狙いと来賓の意識には大きな隔りがあると思う。以下3点質問する。

①出席率の低かった理由

と、来年度以降の対策は。②来賓の出席率の低さと途中退席を、町長としてどう捉える。③本町のまちづくりの理念である協働という考え方を、今後成人式という絶好の機会でのよう理解をしてもらうか。

町長 ①ジャパンサッカーカレッジの生徒とアルビレックスの選手の計72人も該当者であるため全体の出席率は低くなっている。しかし聖籠中卒業生の出席率は71%で、決して低くはない。



▲未来を担う成人たち

②お盆の実施ということですが都合がつかない来賓もいる。今後は開催時期の検討も含めながら、来賓への案内や運営に工夫を加え、晴れの門出に大勢の方の出席をお願いできるようにする。途中退席については、式典以後の

事業のありかたを工夫する。③新成人の自立性を尊重し、式の運営に関わってもらう。今後の協働したまちづくりの担い手として、活躍を期待する。

土曜授業への対策は

教育長 国の動向を見ながら検討

問 文科省は、来年度から小・中・高校生らの学力向上に向け、土曜授業を行う公立校への補助制度を設け、来年度以降の3年間で全公立校での土曜授業実施を目指すことにした。そして、その推進は各自自治体で判断ができるとしている。本町では実施時期や学習内容などをどのように計画・準備しているか。

教育長 土曜授業は、文科省の検討チームのまとめ、中央教育審議会での議論などを踏まえて、法改正が行われてからの実施になる。まだ全体像が見えにくい。現段階では土曜授業実施については計画していない。今後、保護者のニーズや指導者の確保。また場所や財源をどうするかなどを、国の動向を見ながら検討することが必要になってくると思う。

東港の可能性どうみている

町長 最優位性を持った港



高松 守雄議員

問 ①町長は7月30日から5日間、自民党県日本海資源開発促進議員連盟や衆議院議員と共に極東ロシアを訪問し、極東地域の港湾およびエネルギー関連施設の視察や政府高官と意見交換してきた。

注目されるロシアの原油・石炭およびLNG等の受け入れの観点から、東港の可能性をどう考えているか。

町としては、特定地域での大胆な規制緩和を求める政府の国家戦略特区構想に対してエネルギー戦略等のアイデアを提案したのか。

②東北電力(株)が東日本大震災後の電力不足を受けて当町に設置した緊急設



▲エネルギーの拠点東港

置電源について、被災地の設備復旧が進んだことから東新潟火力発電所港3号系列は今年10月以後に廃止、東新潟5号機は平成27年1月に廃止されると新聞報道があったが町は聞いているか。

また、港火力自体が老朽化を理由に廃止の方向と聞く。今後の構想や計画は聞いているか。

地元には保守点検等の下請け業者も多く、地元

の活性化のためになお一層設備投資の要請をしてほしい。

町長 ①エネルギーの資源開発と安定供給の重要性という両面において、災害発生時における太平洋側のバックアップ機能にとどまらずわが国の経済活動を維持、活性化という観点において、日本海側のエネルギー拠点基地としての中心的な役割が求められているものと考

一口メモ

※国家戦略特区とは 安倍政権が進める成長戦略の一つ。地域や企業の提案をもとに、政府の主導で規制緩和や税制優遇といった措置をとる特別な区域を定めるもの。企業やヒト、モノ、カネを国内外から呼び込み、国際的なビジネス環境を整備することが狙い。

える。

②町に事前報告もなく確認したところ、発電所等の復旧も完全でないため、当面廃止しないとの回答。

電力の安定供給、長期計画の中で町としてもただ廃止でなく、更新を絶対的な要件として要請を図る。

低投票率どう高めるか

選挙管理委員長 今後の委員会で検討

問 関心を集めた参院選本町の投票率は50.42%県下では新潟市につぐワースト2であった。

国政選挙では毎回、同様の繰り返しであるが、この低い投票率どう分析しているか。

今後、投票率の低い20代への取り組み、高齢者や障害者への投票所までの移動手段など、投票率アップの環境整備を検討すべきでないか。

選挙管理委員長 指摘された件も含めて、今後の委員会にできることからやれる範囲内で検討する。



青木 順議員

問 ことしの夏休み児童クラブ入所は、蓮野小学校だけが抽選になった。共働き世帯も多くなり、親に夏休みはなく、預けられなかった親は非常に苦労したと思う。今後の児童クラブの施設整備をどう考えるか。

また、蓮野小学校から整備を検討しているというのだが、蓮野だけが困っているわけではない。3小学校バランスをよくしてほしい。

また児童館の設置については、現在の聖籠こども園を、子どもに対する総合的な支援施設として位置付けるのも考えの一つになる。

児童クラブと児童館どうなる

町長 国の考えに合わせて対応していく



▲暑さ対策緑のカーテン

問 町長は、3月議会でも安全確保についてはできるものから実施すると述べた。近年通学路での事件、事故も増えている。ボランティアの方々もより一層事件、事故に気がつけていくと言っている中、町は何を取り組んだのか、そして取り組んでいくのか。

町内危険箇所のうち、未対策箇所5件については、道路改良に伴う用地確保などの対策を、警察等と協議を進めながら検討している。直接町民からの声も聞きながら、時間のかかる所も出てくるが、実態を踏まえながら、できる所から、整備をする。

通学路の安全確保どうなった

町長 できることから整備する

3小学校にクーラーを

教育長 整備計画策定する

問 クーラーを整備することには、さまざまな意見がある。しかし、子どもの学習への集中力や熱中症から守るため、整備が必要ではないか。財政面での問題もあるが扇風機だけでもすぐに対応できないか。

クーラーをクーラーを設置することについては、さまざまな議論、考え方は承知している。暑さ対策をどうするかについては、

保全管理をしっかりと

町長 保全に努める

問 派川加治川水環境整備工事は昨年度で終了した。聖籠地区は自然景観ならびに生態系の保護をテーマとした事業である。しかし、中間地点は用水路があり、その両側に桜が植栽されているだけで他に何も無い。下流では川中にヨシが繁茂し、岸辺にもヨシや竹、さらに柳やニセアカシア、雑木が水辺をふさいでいる。茨島橋付近から下流のみが比較的整備され旧加治川の面影をとどめているが、新発田地区とはかなりの整備差がある。

元々の環境整備を地元住民で行うことは非常に良いことであり、大いに賛成だ。しかし、現状の草刈りや整備では、せっかく整備した水辺に近づくことや見ることさえできないエリアが多く、ここに川があることさえ忘れてしまう。水面が見えないほどに雑木や雑草を残した現状が水環境保全となるか疑問だ。数年後には以前のごみ捨て川になり

かねない。町から協議会に対策を提案すべきでないか。



▲いつでも利用できる公衆トイレに



▲こんな風にして派川加治川

問 網代浜船だまりの整備、海のにぎわい館の設置、NPO法人の釣り場開放などにより、町の海岸を訪れる人が多くなり喜んでいる。しかし、海水浴シーズン以外は駐車場のトイレは閉鎖され、海のにぎわい館トイレも管理人がいない時は閉鎖して、多くのクレームを聞く。本末転倒も甚

だしい。にぎわい館のトイレは24時間開放すべきでないか。

トイレを24時間開放すべき

町長 非常に難しい

トイレの掃除等の維持管理は大変であり、人けがない施設は壊されたりする場合が多く、過去の経験から現状に至っている。7月から9月下旬までの日中以外のトイレ開放は非常に難しい。



▲先進地三芳町視察

一問一答方式へ 実施の方向へ

議会運営

7月16日埼玉県三芳町議会、翌日神奈川県大磯町議会へ、一般質問における一問一答方式の取り扱い等について視察調査を行った。

いずれの議会も住民の代弁者として活動する議員が、議会の本会議でどのように議論をしているかが分かるような仕組みづくりをしていた。一般質問の仕方は、一つの質問事項について質問と答弁を繰り返して内容を明



▲中一ギャップを真剣に学ぶ

中一ギャップ解消へ向け

総務文教

本委員会は8月15日、中一ギャップ解消をテーマに、小・中連携教育事業について研修をした。中学校へ入学した生徒が、学習内容や生活リズムの変化に戸惑うことに起因する中一ギャップ。その解決には小・中連携教育が効果的である。

五泉市立川東小・中学校では、毎年小4から中3までの児童・生徒による交流活動をしており、社会性や豊かな人間性の

育成に効果を上げている。本町では「12年カリキュラム構想」により、幼・小・中の連携は比較的にスムーズである。今後は学習指導計画の見直しや、教師を含めた小・中学校の交流などを、保護者・地域の協力のもと取り組むことが必要である。

らかにする方法が「一問一答方式」だが、傍聴者にとって分かりやすいと言われており、これを採用していた。

聖籠町議会では、まとめて議員が質問し、まとめて町長等から答弁を受ける方式となっている。どちらの方式にも長所・短所があるが、傍聴される町民の立場から一問一答方式へ変更する方向で現在、研究している。

視察と研修で学んだ7月

議会広報

7月11日、高知県越知町を視察した。

越知町広報の特徴は①写真をふんだんに使っていること②極力長文は避けていること③キャプションも記事の一部として位置付けていることなど、大変参考になった。

当町議会広報102号についても細かく分析していただき、多くの意見交換ができた。今後の広報づくりに学ぶ点が多い視察であった。

7月29日・30日第78回町村議会広報研修会に議会広報委員4人が受講し

初日は①分かりやすく、ふさわしい日本語②デザインの基本知識③撮影方法と表現方法について、それぞれの専門講師から指導をいただいた。

2日目は当町議会広報のクリニックを受けた。住民参加をふんだんに取り入れた企画力には高い評価をいただいたが、円グラフのデザイン処理や可読性やリード文の作成方法などについて適切な指導をいただき、今後の広報紙づくりに大変有意義な研修であった。

あんなことや こんなことを 調査 委員会



▲越知町視察

▲全国研修会

こんなことを 研修 報告

本委員会は、8月6日、①稲の生育状況 ②ハクビシンの被害についての現地調査 ③聖籠町農業再生協議会での検討事項 について調査を行った。

①稲の生育状況については、水稲の収穫期を迎えるに当たり、今年の気象条件に鑑みて多大な倒伏の懸念があり、現況の調査・確認を実施した。今後の対応・対策について説明を聞いた。

②ハクビシンの被害については、一部住宅に關して既に確認されており、最近是一部農作物（果樹）にも被害が及んでいくとの懸念があり、その圃場を視察調査した。

③聖籠町農業再生協議会の検討事項については、担当課長より説明を受けた。

本協議会が、町の農業振興に尽力されることを期待したい。

農業振興に期待

厚生産業



▲水田圃場現地視察

☆ 議会を傍聴に来ませんか

議会では、どんなことが議論されているのか。どんな計画があり、どう進んでいるのか。あなたに身近なこともありません。気軽に傍聴においでください。

また、本会議での一般質問のようすをラジオ放送「エフエムしばた」やインターネットでも生放送しています。都合で議場には来られない方も、ぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っております。

次回の**定例会**は、
12月3日(火)開催の予定です。

★表紙の写真★

「聖中祭～チーム対抗リレー」

今号の表紙は、9月7日に行われた中学校の体育祭「聖中祭」のチーム対抗リレーです。生徒たちは5つのチームに分かれ、勝利を目指して懸命にバトンをつないでいました。

発行責任者

議長 須貝 龍夫

広報対策特別委員会

委員長 五十嵐利栄
副委員長 渡辺 利道
委員 堀 常正
田村富美男
田中 智之
青木 順

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん

とても住みやすい町だと思いました



おがわ 小川 あかね さん
(山大夫)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
高校の同級生で知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いで来てどんなイメージを持ちましたか？
のどかで、新発田の田舎から来た私には、とても住みやすい町だと思いました。

Q 町での生活はどうですか(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせ下さい)
スーパーやコンビニが近く、とても便利です。家族も近くにいるので、安心して生活ができています。

Q 町に望むことはありますか？
これからも住みやすく、安心して生活ができる町であってほしいです。

今回は新発田市出身で平成25年5月に嫁いで来た小川あかね(旧姓 菊地)さんです。
皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(Tel. 0254-27-1967)までご連絡下さい。

編集後記

3・11の地震・津波大災害に始まり、今なお、大水害と竜巻が日本各地に災いをもたらしている。

なんで日本だけが、と思いたくなる。希望がほしい。笑顔がほしい。

そんな中、56年ぶりに二度目の東京オリンピック開催が決定。被災地に光を灯したスポーツの力、今日の日本繁栄をもたらした最初の東京オリンピック。スポーツの力は本当にすごい。元気がない日本に、オリンピックとともに発展を望みたい。

日本の絆を信じ、希望の炎を再び燃やそう。

議会広報対策特別委員会

委員 堀 常正